

# 都市再生整備計画(精算報告)

みずほちゅうおう  
瑞穂中央地区

ぎふけん みずほし  
岐阜県 瑞穂市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	瑞穂市	地区名	瑞穂中央地区	面積	962 ha	
計画期間	平成	19年度～	平成	23年度	交付期間	平成	19年度～平成	23年度

<b>目標</b>	
★ <b>大目標</b>	災害に負けない「安全で安心して暮らせるまちづくり」の推進
目標1	災害時における住民のための避難所や避難経路の確保
目標2	防災拠点(地域コミュニティセンター)の整備による地域防災力の強化
目標3	河川と身近に触れ合うことにより、その役割について市民の認識が深められるよう、親水空間を活用した憩いの場の創出

<b>目標設定の根拠</b>	
<b>まちづくりの経緯及び現況</b>	瑞穂市は、長良川、揖斐川、犀川、五六川など16本もの一級河川が流れる地勢条件から、古くから幾度となく大水害に見舞われ、その度に住民は生命や、財産である田畑を奪われてきた。貴重な田畑を守るため人々は、永い川とのたたかひの歴史の中で輪中と云われる堤防を築いてきており、現在でも当地には「五六輪中」、「河渡輪中」や「古橋輪中」などの堤防が残っている。しかしながら、河川の最下流部の低地に位置している当該エリア内では、上流からの水が集中するという地形条件もあり、その後も毎年のように浸水等の被害を受けていることから、現在、国や県による統合排水機場(ポンプ)及び新堀川放水路の整備を進めているところである。
〃	本市は、「岐阜県地震防災対策連携強化地域」並びに法に基づく「地震防災対策推進地域」に指定されており、東海、東南海地震発生時には大きな被害を受けることが予想されるため、建物の耐震化や避難所及び避難経路の整備、防災倉庫、防災資機材などハード面の対策を進めていくとともに、非常食料や水の確保、防災マニュアル、防災マップの作成、情報ネットワークの整備などソフト面の対策も並行して進めているところである。
<b>環境への対応</b>	市内にある多くの河川については、水害対策と共に、総合的な治水の観点から、平常において、河川を身近に感じ川との触れ合いを深めるため、堤防天端や高水敷を活用した遊歩道や河川公園の整備を積極的に進めている。H17年には犀川遊水地が国交省より「犀川水辺の楽校」の指定を受けており、H18年度からワークショップを開催し、市民の意見を取り入れながら河川の役割や生態系を学ぶ環境学習の場としての公園整備を行うこととしている。
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 防災環境の整備 —— 住宅密集地において、避難所や避難経路、延焼防止空間としての道路や公園、広場等の整備を進めるとともに、広域的な緊急輸送道路ネットワークを構築する。</li> <li>② 消防防災体制づくり —— 新市として統合した常備消防防災づくりを進めるため、消防署の整備とともに、必要な人材を確保し消防教育や訓練を通じ地域に密着した組織づくりを進める。</li> <li>③ 救急・救助・応急体制づくり —— 災害時の救急・救助等のため必要な施設や装備(避難所、備蓄倉庫など)の充実を図るとともに、医師会との広域協力体制を強化する。</li> <li>④ 防災情報ネットワークづくり —— 災害発生時の状況把握や避難情報などの緊急情報が、正確かつ迅速に収集・伝達できるよう、防災情報ネットワークづくりを進める。</li> </ul>
<b>将来ビジョン(中長期)</b>	<p>【 新市総合計画 ( 全体 H18～37年、第1期計画 H18～27年の10ヶ年 ) 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 瑞穂市は、「安全で快適なまちづくり」のため、治水・防災対策を最重点施策として掲げている。災害を未然に防止し市民の生命・財産を守るため、必要な河川改修や排水機の整備を軸とした治水対策を推進するとともに、平常時においては、防災資機材の充実や食料、水等の計画的な備蓄に努める。また、防災マニュアルやハザードマップ(H19作成)により市民の防災に対する意識を啓発し、「地域の安全は地域で守る」の理念のもと地域ぐるみの防災体制を確立し、総合的な治水対策を進めていく。</li> <li>○ 今後予想される大地震や火災等に対する消防・防災体制を確立するため、常備消防体制づくり(消防署の整備)、防災環境の整備(輸送道路、避難場所等の整備)、救急・救助、応急体制の充実(迅速かつ高度な救助活動の構築)、地域ぐるみの防災体制づくり(地域自主防災組織への支援)、防災情報ネットワークの整備(複数の情報伝達手段の確立)を重点的に進める。</li> </ul>

<b>目標を定量化する指標</b>							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
防災対策に対する満足度	%	災害に強いまちづくりに対する市民の満足度	地区内の防災対策を積極的に進めることにより、災害に強いまちづくりに対する住民の満足度を2倍に高める。	18	平成16年度	36	平成23年度
避難所の屋内収容人数	人	被災時における屋内収容人数	地震や水害発生時の避難における短期の屋内収容人数を増加させる。	3,630	平成18年度	3,940	平成23年度
住民一人当りの公園面積	m <sup>2</sup>	エリア内の住民一人当りの河川公園面積	「水辺の楽校」等の公園を整備し、河川の役割や自然環境への意識の向上を目的に、河川親水公園の利用面積を増加させる。	3.0	平成18年度	7.8	平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

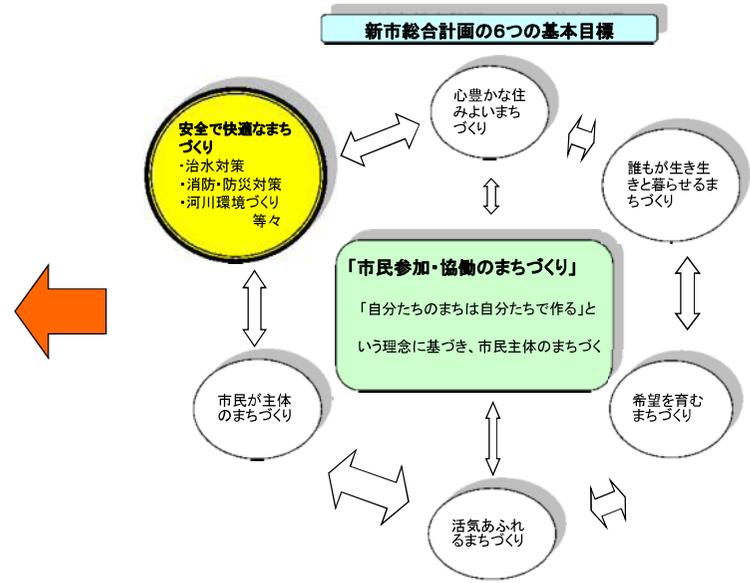
計画区域の整備方針	〔基幹事業〕	方針に合致する主要な事業	〔提案事業〕
<p>★ 整備方針① [ 防災環境づくりの推進 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時における速やかな避難・救援体制づくりを推進するため、避難所としての役割を持ったコミュニティセンターの建設や避難経路及び緊急物資輸送に必要な道路・歩道の整備を行う。</li> </ul>	道路(市道7-2-89号線) 道路(市道1-3-86、1-3-85、1-3-82号線) 道路(市道1-1-1号線) 道路(市道3-1-2号線) 道路(市道5-1-3号線) 道路(市道5-3-408号線) 高次都市施設((仮称)本田コミュニティセンター)		
<p>★ 整備方針② [ 地域防災力の強化 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後予想される大規模地震や火災に対応するため、地域防災拠点を整備し、平常時には防災訓練や講習を通じて地域住民の防災力を高めると共に、災害時には情報基地及び避難所としての活用を図る。</li> </ul>	地域生活基盤施設((仮称)本田ふれあい広場) 高次都市施設((仮称)本田コミュニティセンター)	【関連事業】	瑞穂市消防署建設事業
<p>★ 整備方針③ [ 治水対策の推進 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該エリア内の排水条件を改善し浸水による災害を防止するため、統合排水機場や新設放水路の整備を実施するとともに、河川改修事業や排水路の整備を進める。</li> <li>平常時において、避難に対する住民意識の高揚を図るため、避難場所や経路を示すマップや洪水及び地震ハザードマップの作成、配布を行うとともに、電柱や標識柱等を利用して、誰もがわかる「警戒用水位標識」の設置を行う。</li> </ul>			地域創造支援事業(水路整備)「野白新田」、「別府」 【関連事業】 犀川統合排水機場新設事業 新堀川新設放水路整備事業 一級河川犀川河川改修事業
<p>★ 整備方針④ [ 河川との触れ合い、環境の改善 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平常時において、河川との触れ合いを深めるとともに、治水や環境に対して河川が果たす役割を広く市民に知ってもらうため、遊水地を活用した「犀川水辺の楽校」(遊水地公園)や「五六川親水公園」などの河川公園の整備を進める。</li> <li>河川を身近に感じてもらうための堤防天端を利用した遊歩道やそれをつなぐ歩道橋の整備を行う。(緊急時には避難路として役立つ。)</li> </ul>	道路(市道7-3-551-1号線) 道路(市道4-3-351、4-3-347号線、5-3-419号線) 公園((仮称)犀川遊水地公園) 公園(五六川親水公園) 公園(本田西之島公園)		まちづくり活動推進事業(環境学習会の開催)

その他

○ 現在策定を進めている「新市総合計画」(第1期、H18～27年の10ヶ年計画)では、市民が笑顔で暮らせるまちを目指しており、そのためにみんなで作り上げる「市民参加・協働のまちづくり」を基本目標に掲げ、そのための仕組みづくりを積極的に行っていくこととしている。特に治水・防災対策を進め、災害に負けないまちづくりを推進することは本市の最重要施策であり、国や県と協働が必要な事業を進めていく。

【 治水・消防・防災対策の各施策の展開 】

治水対策	①治水対策の推進 当該区域の排水条件を改善するため、河川の改修、排水機の設置を推進するとともに、都市幹線排水路等の整備を進め浸水被害を防ぐ。また、堤防の強度や高さ不足が危惧される重要水防箇所での適切な水防活動を維持していく。 ②危険箇所の把握と周知 水防の予防と被害の軽減を図るため、防災マニュアルや洪水ハザードマップを作成・配布して、洪水に対する市民意識の高揚を図るとともに、緊急時に的確な防災情報を流すための情報ネットワークの整備を行う。
河川環境づくり	③潤いある河川づくり 河川との触れ合いや河川の持つ役割を認識し、平常時や洪水時に適切な対応ができるよう、河川公園や遊歩道を整備するとともに本地域が持つ川との関わりや歴史や地勢の特徴などがわかるよう、「水辺の楽校」のような学習施設を整備していく。
消防・防災対策	①防災環境の整備 緊急時の避難路や避難路、防災倉庫、防災資機材の適切な確保・維持に努めていく。 ②消防・防災体制の充実 新市の消防・防災体制づくりのため、消防署の整備や消防装備の強化を図るとともに、消防訓練や女性を含めた人材を育成し地域に密着した消防組織体制づくりを進めていく。 ③救急・救助、応急体制づくり 救急車両、高度救急資機材の配備と救急救命士、救助隊員の育成強化を図り、迅速かつ高度な救急・救助活動が出来るよう、体制づくりを進める。また、医師会や関係団体との協力を得て応急体制の充実を図る。 ④地域ぐるみの防災体制づくり 初期段階から迅速な対応を地域ぐるみで行えるよう、広報等を通じ防災知識の普及・啓発に努めるとともに、避難、救助訓練を実施し、自主防災活動の強化を図る。 ⑤防災情報の提供 被害の未然防止や最小化のため、地域防災計画を適宜見直すとともに、避難場所や経路を示した防災マップ等を作成し防災に関する情報を適切に提供していく。また、災害時における情報提供のための情報ネットワークの整備・充実を図る。



交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,755	交付限度額	721.1	国費率	0.411
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

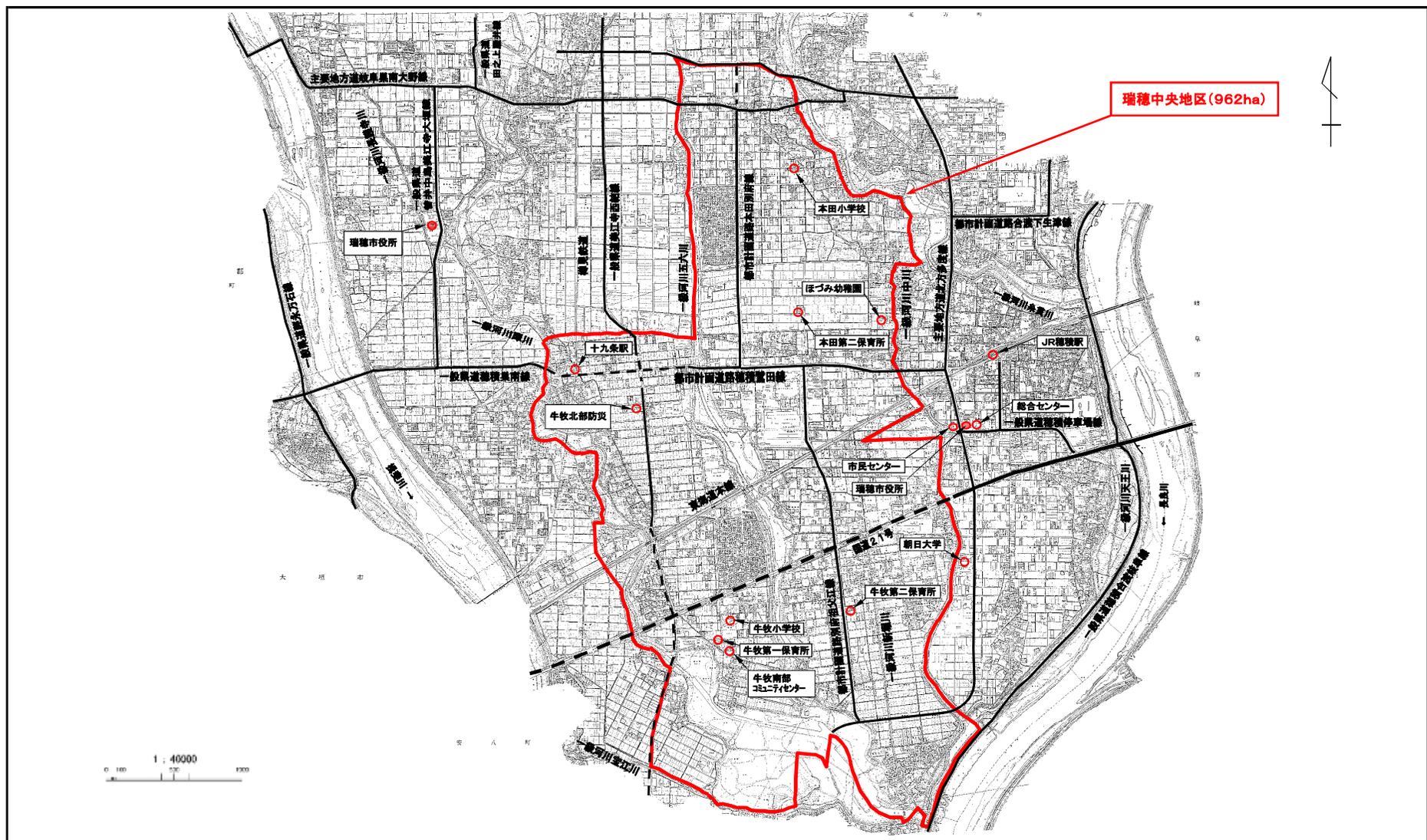
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
基幹事業	道路	市道7-2-89号線	瑞穂市	直	L=460m	H15	H23	H19	H23	1,800	351	351	0	351
		市道1-3-86号線	瑞穂市	直	L=400m	H 8	H23	H19	H23	160	71	71	0	71
		市道1-3-85号線	瑞穂市	直	L=240m	H 9	H23	H20	H23	60	52	52	0	52
		市道1-3-82号線	瑞穂市	直	L=220m	H18	H19	H19	H19	130	46	46	0	46
		市道7-3-551-1号線	瑞穂市	直	L=420m	H19	H23	H19	H23	321	321	321	0	321
		市道1-1-1号線	瑞穂市	直	L=300m	H18	H21	H19	H21	60	29	29	0	29
		市道5-1-3号線	瑞穂市	直	L=100m	H19	H20	H19	H20	52	52	52	0	52
		市道3-1-2号線	瑞穂市	直	L=510m	H21	H22	H21	H22	62	62	62	0	62
		市道4-3-351号線	瑞穂市	直	L=1,130m	H21	H21	H21	H21	11	11	11	0	11
		市道4-3-347号線	瑞穂市	直	L=160m	H21	H21	H21	H21	3	3	3	0	3
		市道5-3-419号線	瑞穂市	直	L=1,010m	H21	H21	H21	H21	10	10	10	0	10
		市道5-3-408号線	瑞穂市	直	L=90m	H22	H22	H22	H22	5	5	5	0	5
		公園	(仮称)犀川遊水地公園	瑞穂市	直	A=9.6ha	H18	H23	H19	H23	300	81	81	0
瑞穂市	直			A=5.8ha	H20	H21	H20	H21	12	12	12	0	12	
瑞穂市	直			A=0.1ha	H22	H23	H22	H23	19	21	21	0	21	
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設(広場)	(仮称)本田ふれあい広場	瑞穂市	直	—	H18	H20	H19	H19	40	40	40	0	40	
地域生活基盤施設(駐車場)														
地域生活基盤施設(地域防災施設)														
高質空間形成施設(カラー舗装)														
高質空間形成施設(歩道上屋設置)														
高次都市施設(地域交流センター)	(仮称)本田コミュニティセンター	瑞穂市	直	—	H18	H20	H19	H19	338	338	338	0	338	
高次都市施設(観光交流センター)														
高次都市施設(人工地盤等)														
既存建造物活用事業(地域生活基盤施設:広場)														
既存建造物活用事業(観光交流センター)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計									3,383	1,505	1,505	0	1,505	

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業	水路整備	野白新田地内	瑞穂市	直	L=610m	H15	H23	H19	H23	397	234	234	0	234
		別府地区	瑞穂市	直	L=80m	H23	H23	H23	H23	7	7	7	0	7
事業活用調査	事業効果分析調査	—	瑞穂市	直	—	H22	H23	H22	H23	3	3	3	0	3
まちづくり活動推進事業	環境学習会	「犀川水辺の楽校」(仮称)犀川遊水地公園	瑞穂市・大垣市	直	—			H19	H23	6	6	6	0	6
合計									413	250	250	0	250	
												合計(A+B)	1,755	



都市再生整備計画の区域

瑞穂中央地区(岐阜県瑞穂市)	面積 962 ha	区域 瑞穂市本田・牛牧
----------------	--------------	----------------



## 瑞穂中央地区(岐阜県瑞穂市) 整備方針概要図

<b>目標</b> 低地に位置する本地区の災害を未然に防止するとともに、緊急時には安全に避難できるよう、「災害に負けない安全・安心のまちづくり」を推進する。	代表的な指標 防災対策に対する満足度 ( % )	18 (16年度) → 36 (23年度)
	避難所の屋内収容人数 ( 人 )	3,630 (18年度) → 3,940 (23年度)
	住民一人当りの公園面積 ( m <sup>2</sup> )	3.0 (18年度) → 7.8 (23年度)

